



2020年の五輪・パラリンピック開催までに、 UDタクシー1万台導入を目指します。

UD(ユニバーサルデザイン)タクシー

東京都が2016年度予算案でUD(ユニバーサルデザイン)タクシー導入支援として約61億円を計上し、購入1台あたり60万円を補助することになりました。2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催までに、都内のタクシー約5万台のうちの2割にあたる1万台の導入を目指します。

導入台数(補助ベース)

	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県
23年度実績	2両	15両	—	6両
24年度実績	13両	71両	10両	6両
25年度実績	13両	34両	4両	1両
26年度実績	15両	17両	4両	5両
27年度実績	8両	6両	6両	1両

関東運輸局調

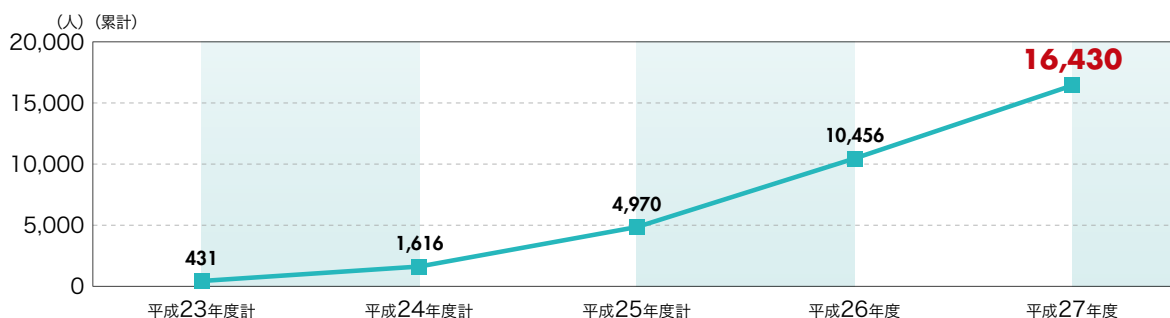


ユニバーサルドライバー研修(UD研修)

高齢者やお身体の不自由な利用者とのコミュニケーション、車いすの取扱や乗降時の介助方法などについて実施される研修で、(一財)全国福祉輸送サービス協会が実施しています。平成26年4月1日からは(公財)東京タクシーセンターでの乗務員になるために必要な講習にも組み込まれており、東京では2020年までに乗務員の半分以上が資格者となる予定です。



UD研修 修了者推移(東京)



出典：一般財団法人全国福祉輸送サービス協会

SECTION 01

東京オリンピック・
パラリンピック
に向けて